

沖縄県食品ロス削減推進計画令和 4 年度取組状況報告



～食品ロス 減らして 増やそう ゆいまーる～



令和 5 年 2 月沖縄県食品ロス削減推進県民会議

1. 沖縄県の食品ロスの指標及び削減目標

(1) 沖縄県の食品ロス量

計画開始年度（令和4年度、2022年度）の食品ロス量 61,450 トンを、計画最終年度（令和13年度、2031年度）までに、51,004 トンまで削減することを目指します。

指 標	計画開始年度	計画最終年度	削 減 量
	令和4年度(2022年度)	令和13年度(2031年度)	
家庭系 食品ロス量	35,667トン	29,604トン	(17%削減) 6,063トン
事業系 食品ロス量	25,783トン	21,400トン	(17%削減) 4,383トン
食品ロス量合計	61,450トン	51,004トン	10,446トン
県民1人当たり の食品ロス量	115g/人・日	95g/人・日	(17%削減) 20g

※削減目標については、国が2000年度から2030年度までの30年間で食品ロス量を50%削減させるという目標を設定しており、本計画の期間（10年間）が国の期間の3分の1であることを踏まえ、17%削減（ $50\% \div 3 \approx 17\%$ ）という目標を設定している。

(2) 食品ロス問題を認知し削減に取り組む消費者の割合

指 標	令和4年度 (2022年度)	令和13年度 (2031年度)
	食品ロス問題を認知している県民の割合	97.0%
食品ロス問題を認知し削減に取り組む県民の割合	80.2%	97.0%

2. 施策一覧

施策展開		数値目標設定項目	単位	現況値 R3	中間年 R8	目標値 R13	担当課
施策の方向性							
施策名							
1. 食品ロス削減の基本的な施策							
(1) 教育及び学習の振興、普及啓発							
①	家庭における食品ロス削減の普及啓発の推進	シンポジウム・イベント等の開催件数	回/年	0	1	2	消費・くらし安全課
②	食品ロス削減に関する講座の実施	食品ロス削減の意識啓発や理解促進を図る授業や副読本(くわっち-さびら)の活用及び給食指導を行うことができたか(アンケート調査)	%	0	90	100	保健体育課 健康長寿課
③	賞味期限や消費期限表示の正しい理解の促進	家庭系食品ロス実態調査における賞味期限の正しい認知度	%	93	95	100	消費・くらし安全課
		家庭系食品ロス実態調査における消費期限の正しい認知度	%	9	20	50	消費・くらし安全課
④	宴会やビーチパーティ等季節ごとの情報発信	数値目標なし	—	—	—	—	消費・くらし安全課
⑤	外食時食べきりの促進と安全な持ち帰り等の啓発	数値目標なし	—	—	—	—	環境整備課 衛生薬務課
⑥	食品廃棄物の削減の推進	数値目標なし	—	—	—	—	環境整備課
⑦	沖縄県食育推進計画と連携した食品ロス削減の推進	食品ロス削減のために何らかの行動をしている県民の割合	%	(R4調査予定)	80	80%以上	健康長寿課
⑧	商慣習見直し機運の醸成(食品流通段階での納品期限3分の1ルール の緩和等)	商慣習の見直しについて意見交換を行う、「商慣習見直しにかかる実務者会議 (仮称)」及び担当者会議等の開催件数	回/年	0	3	3	流通・加工推進課 ものづくり振興課 消費・くらし安全課
⑨	もったいない意識の醸成を図るための県独自のロゴマーク等の活用	数値目標無し	—	—	—	—	消費・くらし安全課
⑩	食品ロス削減月間(10月)等の取組	食品ロス削減月間におけるイベントの実施件数	回/年	2	3	4	消費・くらし安全課
⑪	県広報媒体等を活用した広報活動	食品ロス削減の取組等について、各広報媒体を活用した広報実施回数	回/年	1	5	5	広報課
⑫	観光客等への普及啓発	3010運動を推奨しているホテル数	件	0	50	100	観光振興課 MICE推進課
⑬	関係団体への普及啓発	沖縄県が行う食品ロス削減にかかる表彰式での普及啓発回数	回/年	0	1	1	関係各課
(2) 食品関連事業者系食品ロス対策							
①	規格外や未利用の農水産物の活用の促進	6次産業化セミナーの開催件数	回	3	18	33	流通・加工推進課
②	賞味期限の大括り化の促進	賞味期限の年月表示化の可能性について関係機関等との会議の開催件数	回/年	0	3	3	衛生薬務課 ものづくり振興課
③	商慣習見直し取組の促進(食品流通段階での納品期限3分の1ルール の緩和等)	商慣習の見直しについて意見交換を行う、「商慣習見直しにかかる実務者会議 (仮称)」及び担当者会議等の開催件数	回/年	0	3	3	流通・加工推進課 ものづくり振興課 消費・くらし安全課
④	外食時の食べきりやドギーバッグ活用の促進	数値目標なし	—	—	—	—	環境整備課

(3)表彰制度の創設							
①	食品ロス削減に貢献した事業者への表彰制度の創設	沖縄県が行う食品ロス削減にかかる表彰式の実施回数	回/年	0	1	1	消費・くらし安全課
(4)実態調査及び調査・研究の推進							
①	家庭系食品ロス発生量の調査	数値目標なし (事業系食品ロス発生量については適時調査をおこなうこととしており、数値目標が設定できない)	-	-	-	-	環境整備課
②	事業系食品ロス発生量の調査	数値目標なし (事業系食品ロス発生量については適時調査をおこなうこととしており、数値目標が設定できない)	-	-	-	-	消費・くらし安全課
(5)情報の収集及び提供							
①	先進的な食品ロス削減の取組等の広報活動	食品ロス削減の取組等について、各広報媒体を活用した広報実施回数	回/年	1	5	5	広報課
②	エシカル消費啓発と連動した取組	エシカル消費の認知度 (エシカル消費認知度調査における「言葉の内容を含めて知っている」県民の割合)	%	3.3 (R2年度調査)	12.6	25	消費・くらし安全課
(6)未利用食品を提供するための活動の支援等							
①	未利用加工食品等を活用するためにフードバンク活動の取組を支援	沖縄子どもの未来県民会議が実施する食支援事業に協力する協賛企業等の数	件	50	60	70	子ども未来政策課 消費・くらし安全課
②	生活困窮家庭等への未利用食品の活用の推進	数値目標なし (現在、沖縄子どもの未来県民会議のホームページやSNSを活用し、継続的に食支援活動に関する情報発信を行っていることから、数値目標が設定できない)	-	-	-	-	子ども未来政策課 消費・くらし安全課
③	災害備蓄食料の有効活用	消費期限が残り1年を切る食品の内、フードバンク等へ提供する食品の割合	%	-	100	100	消費・くらし安全課
2. 沖縄県の特性を踏まえた施策展開							
1 未利用食品の有効活用の推進							
(1)	生活困窮家庭等への未利用食品等の食料支援の仕組みを構築	数値目標なし (現在、食支援体制の土台は構築できており、今後持続可能な仕組みとして確立していく方向であることから、数値目標が設定できない)	-	-	-	-	子ども未来政策課 消費・くらし安全課
(2)	県の防災備蓄物資(食料)の有効活用の推進	消費期限が残り1年を切る食品の内、フードバンク等へ提供する食品の割合	%	-	100	100	消費・くらし安全課
2 台風等により仕入れが遅れた食品等の有効活用の促進							
	台風等により仕入れが遅れた食品等の有効活用の促進	数値目標なし (現在、食支援体制の土台は構築できており、今後、持続可能な仕組みとして確立していく方向であることから、数値目標が設定できない)	-	-	-	-	子ども未来政策課 消費・くらし安全課
3 観光客への食品ロス削減の普及啓発の取組							
	観光客への食品ロス削減の普及啓発の取組	3010運動を推奨しているホテル数	件	0	50	100	観光振興課 MICE推進課

3. 各施策項目の取組内容

1. 食品ロス削減の基本的な施策

(1) 教育及び学習の振興、普及啓発

① 家庭における食品ロス削減の普及啓発の推進

食品ロス等の削減をテーマにしたシンポジウムや小売店等と連携したイベント開催等により、暮らしの中で食品ロスを認識し、削減に向けた行動を考え、実践を促す機会とします。

数値目標	単位	現況値	実績						(中間目標)	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	達成度	R8	R13
シンポジウム・イベント等の開催件数	回/年	0	1				100%		1	2

【実施状況】（消費・くらし安全課）

- 子ども未来政策課と連携し、NPO 主催の子ども食堂をテーマにしたシンポジウムにて、食品ロスの現状の説明や会場でのポスター掲示を行った。
- 10月の食品ロス削減月間に合わせ、県庁職員に向け、食品ロス削減に興味を持ってもらえるよう、家庭で食べる予定のない未利用食品等を持ち寄るフード&ライフドライブ in 県庁を実施した。
- 10月の食品ロス削減月間に合わせ、昨年度公募したロゴマークとキャッチフレーズを使用したポスターを作成し、スーパー等の事業者や市町村へ配布し（76箇所）掲示を依頼した。また、図書館でポスターを展示し、県民向け普及啓発を実施した。

② 食品ロス削減に関する講座の実施

学校での教科や出前講座、給食指導等を通じた児童生徒や学生に対する食品ロス削減の意識啓発や理解促進を図ります。

数値目標	単位	現況値	実績						(中間目標)	目標値	
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	達成度	R8	R13	
食品ロス削減の意識啓発や理解促進を図る授業や副読本(くわっちーさびら)の活用及び給食指導を行うことができたか	%	86						0%		90	100

【実施状況】（保健体育課）

【研修の開催】

- 地区別学校給食指導者養成研修
- 栄養教諭、学校栄養職員等研修
- 栄養教諭、学校栄養職員初任者研修

【その他の取組】

- 健康長寿課及び県医師会との連携（うまんちゅ広場にて副読本の活用例を紹介予定）
- 文科省主催等の研修への参加

【実施状況】（健康長寿課）

【次世代の健康づくり副読本（くわっちーさびら）の活用】

- 学校で配布されている教材をデジタルブック化によって、誰でもインターネット上でアクセスすることが可能となり、学校などの教育現場以外でも、家庭や地域・個人で活用できる環境づくりを行った。

【その他取り組み】

- 県の広報誌や広報番組での普及啓発を行った。
「みんなで広げよう！食育の大きな輪（わ）」（美ら島おきなわ6月号、うまんちゅ広場6/4,6/5放送）
「大人にも知って欲しい『次世代の健康づくり副読本』」（うまんちゅ広場12/3,12/4放送）
- 食育月間に合わせた普及啓発を行った。 県立図書館でのパネル展（6/1-6/27）、地元2紙への新聞広告（6/1）

【実施状況】（消費・くらし安全課）

- 離島の小中学校における環境教育に併せて、備蓄食料を用いて食品ロスに関する授業を実施する。（R5.3月予定）

③ 賞味期限や消費期限表示の正しい理解の促進

「賞味期限（おいしく食べられる期限）」と「消費期限（食べても安全な期限）」の違いについて、消費者に対し重点的に啓発することで、食品ロス削減に資する期限表示の正しい理解を促進します。

数値目標	単位	現況値	実績						(中間目標)	目標値	
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	達成度	R8	R13	
家庭系食品ロス実態調査における賞味期限の正しい認知度	%	93	調査中							95	100
家庭系食品ロス実態調査における消費期限の正しい認知度	%	9	調査中							20	50

【実施状況】（消費・暮らし安全課）

- 賞味期限・消費期限の認知度について県内全域を対象に、世帯構成や年齢層を考慮し、400人を対象に調査中（12月実施・アンケート調査）
- 賞味期限・消費期限を含めた商慣習の見直しについて協議をするため、沖縄県食品ロス削減推進県民会議（実務者会議）を開催し、委員と協議を進めている。
- 備蓄食料をフードバンクを通じて配布する際に「賞味期限・消費期限」について説明するリーフレットを作成し配布予定。（21,600枚）
- 離島の小中学校における環境教育に併せて、備蓄食料を用いて食品ロスに関する授業を実施する。（R5.1月予定）

④ 宴会やビーチパーティ等季節ごとの情報発信

季節ごとの消費の機会を捉えた情報発信等を促進します。

【実施状況】（消費・暮らし安全課）

宴会やビーチパーティ等の機会が増えていく時期に合わせ、食品ロス削減についての情報発信等を促進する。

⑤ 外食時食べきりの促進と安全な持ち帰り等の啓発

ア 3010 運動の推進

飲食店等事業者及び消費者に対する「3010 運動」*の普及啓発により、外食時の食べ残しの削減を促進します。
〔※宴会等の最初の 30 分間と終了前の 10 分間に食事をしっかり楽しむことで食べ残しを減らす取組。〕

【実施状況】

（環境整備課）

環境フェア（11 月 12 日）の展示でチラシ配布等を行う。

（消費・くらし安全課）

宴会やビーチパーティ等の機会が増えていく時期に合わせ、県民に対し食品ロス削減の普及啓発を実施していく。

イ 衛生的なドギーバッグ活用法の普及啓発

生ものは持ち帰らない、持ち帰った料理は短時間で喫食する、長時間常温にせず火を通すなど安全に食べる工夫をするといった消費者の衛生知識の向上を図り、消費者と店舗との信頼関係の下、衛生的なドギーバッグ活用の慣習が広がるよう普及啓発に取り組みます。

【実施状況】

（環境整備課）

環境フェア（11 月 12 日）の展示でチラシ配布等を行う。

（衛生業務課）

毎年各保健所を通して食品関連事業者に対して、食中毒予防のための講習会を定期的を開催している。主に食品の取扱いについて、温度管理や調理従事者の衛生管理についてを説明している。食品と直接接する容器包装に関しても規格基準があり、その部分についても食品関連事業者へ指導を行っている。

ドギーバッグについても、問い合わせ等があれば規格基準にあった容器を使用し、衛生的に活用することを助言する。

⑥ 食品廃棄物の削減の推進

食べ残し削減などを含めた日常生活における身近な3R行動(冷蔵・冷凍庫内の整理、食材の適切な保存方法など)の実践を促します。

【実施状況】

(環境整備課)

3R推進月間(10月)中に県民ホール及び県立図書館において、食品廃棄を減らすことに役立つ買い物のコツについてのパネル掲示やチラシ配布を行った。

(消費・くらし安全課)

日常生活における身近な食品ロス削減の取組についてのアンケート調査を実施予定(12月)アンケートの結果を分析し、効果的な取組を検討していく。

⑦ 沖縄県食育推進計画と連携した食品ロス削減の推進

健康寿命の延伸に繋がる食育を推進し、栄養バランスに配慮した望ましい食生活の実践を通じて、食べ物に対する感謝と「もったいない精神」で食べ物を無駄にせず、食品ロス削減の重要性についての理解促進を図ります。

【実施状況】 (健康長寿課)

【次世代の健康づくり副読本(くわっちーさびら)の活用】

○学校で配布されている教材をデジタルブック化によって、誰でもインターネット上でアクセスすることが可能となり、学校などの教育現場以外でも、家庭や地域・個人で活用できる環境づくりを行った。

【その他取り組み】

○県の広報誌や広報番組での普及啓発を行った。「みんなで広げよう!食育の大きな輪(わ)」(美ら島おきなわ6月号、うまんちゅ広場6/4,6/5放送)

「大人にも知って欲しい『次世代の健康づくり副読本』(うまんちゅ広場12/3,12/4放送)」

○食育月間に合わせた普及啓発を行った。

県立図書館でのパネル展(6/1-6/27)、地元2紙への新聞広告(6/1)

⑧ 商慣習見直し機運の醸成（食品流通段階での納品期限3分の1ルールの緩和等）

食品流通段階における商慣習が食品ロス発生の大きな要因となっていることから、県民会議のもとに消費者に対して食品関連事業者が行う、商慣習見直し等を含めた食品ロス削減に資する取組について普及啓発を行い、理解を促進します。

数値目標	単位	現況値	実績						(中間目標)	目標値	
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	達成度	R8	R13	
商慣習の見直しについて意見交換を行う「商慣習見直しにかかる実務者会議」及び担当者会議等の開催件数	回/年	0	3					100%		3	4

【実施状況】（流通・加工推進課、ものづくり振興課、消費・暮らし安全課）

商慣習見直しを検討するための実務者会議を開催。

- ・第1回実務者会議 令和4年9月29日（協議事項：商慣習見直しについて、先進事例の紹介）
- ・第2回実務者会議 令和4年11月4日
（協議事項：食品ロス削減に取り組む事業者の登録制度による周知、未利用食品の有効活用の推進）
- ・第3回実務者会議 令和5年1月中旬頃（予定）
（協議事項：共同宣言（案）意見交換・採択「食品ロス削減に取り組む事業者の登録制度による周知」）

【実施状況】（流通・加工推進課）

農林水産省による商慣習の見直しに取り組む事業者の募集の周知を行った。

⑨ もったいない意識の醸成を図るための県独自のロゴマーク等の活用

沖縄県の食品ロス削減の取組の趣旨を表現したロゴマーク等を制定し、食品ロス削減に取り組む企業・団体等に積極的な活用を促し、県民運動としての更なる展開を推進します。

【実施状況】（消費・くらし安全課）

○令和3年度に「沖縄県食品ロス削減県民運動ロゴマーク及びキャッチフレーズ」について、公募を行い、ロゴマーク 28 点、キャッチフレーズ 64 点の応募の中から審査委員会にて決定した。

○令和4年度は10月の食品ロス削減推進月間に合わせ、ロゴマークとキャッチフレーズを使用したポスターを作成し、関係団体に配布し掲示してもらった。

○食品ロス削減に関わる職員の名刺にロゴマーク及びキャッチフレーズを使用し、広報啓発に活用している。

⑩ 食品ロス削減月間（10月）等の取組

食品ロス削減月間（10月）、食品ロス削減の日（10月30日）に、食品ロスの削減に対する県民の意識の醸成、社会的な機運を高める取組を実施します。

数値目標	単位	現況値	実績						(中間目標)	目標値	
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	達成度	R8	R13	
食品ロス削減月間におけるイベントの実施件数	回/年	2	3					100%		3	4

【実施状況】（消費・くらし安全課）

○10月の食品ロス削減月間に合わせ、県庁職員に向け、食品ロス削減に興味を持ってもらえるようフード&ライフドライブ in 県庁を実施し、子ども未来政策課と連携し、おきなわ子ども未来ランチサポートへ提供し、子どもの居場所等へ配布してもらった。

（食品：総数 490 個、122.3 kg、日用品：総数 528 個）

○10月の食品ロス削減月間に合わせ、昨年度公募したロゴマークとキャッチフレーズを使用したポスターを作成し、スーパー等の事業者や市町村へ配布し（76箇所）掲示を依頼した。また、図書館でポスターを展示し、県民向け普及啓発を実施した。

⑪ 県広報媒体等を活用した広報活動

各種広報媒体を活用し、県内の食品ロス等の削減に関する先進的な取組事例等について情報発信することで、食品ロス等の削減に関する意識を啓発します。

数値目標	単位	現況値	実績						(中間目標)	目標値	
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	達成度	R8	R13	
食品ロス削減の取組等について、各広報媒体を活用した広報実施回数	回/年	3	6					120%		5	5

【実施状況】（広報課）

広報誌「美ら島沖縄」

- ・食品ロス削減をテーマとした連載の実施（6月～8月） 3件
- ・SDGs 特集（6月号）における「SDGsOKINAWA グランプリ 2021」の紹介（受賞作品に食品ロス削減をテーマとした取組有） 1件
- ・「おきなわこども未来ランチサポート」紹介（10月号） 1件

広報テレビ「うまんちゅひろば」

- ・「食育月間」紹介（6月放送） 1件

⑫ 観光客等への普及啓発

観光誘客プロモーションや修学旅行誘致を行う際に食品ロス削減の啓発活動を行います。合わせて、観光客やMICE等を受け入れる宿泊施設や観光施設の管理者側に対しても食品ロス削減の取組の協力依頼を呼びかけます。

数値目標	単位	現況値	実績						(中間目標)	目標値	
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	達成度	R8	R13	
3010運動を推奨しているホテル数	件	0	0					0%		50	100

【実施状況】（観光振興課、MICE推進課）

- ・沖縄MICEネットワークの取組のなかで、「沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン」を作成した。
- ・サステナビリティガイドラインのなかで、県内MICE事業者のフードロス削減における取組事例等を掲載しており、沖縄MICEネットワーク会員（222団体のうち、宿泊業のホテル等は20団体加入）に対して、MICE人材育成講座等において取組事例の紹介及び普及等に努めた。
- ・今後の誘客プロモーションや誘致活動に併せて、食品ロス削減に係る啓発活動や観光関連事業者への働きかけ等も検討していく。

⑬ 関係団体への普及啓発（関係各課）

食品ロス削減の優良事例について普及啓発を図るなど、各種イベント等で食品ロス削減を推進します。

【実施状況】（消費・暮らし安全課）

- 子ども未来政策課と連携し、子ども食堂をテーマにしたシンポジウムにて、食品ロスの現状の説明や会場でのポスター掲示を行った。
- 10月の食品ロス削減月間に合わせ、昨年度公募したロゴマークとキャッチフレーズを使用したポスターを作成し、スーパー等の事業者や市町村へ配布し（76箇所）掲示を依頼した。また、図書館でポスターを展示し、県民向け普及啓発を実施した。

【実施状況】（子ども未来政策課）

- 全国食支援活動協力会及びランチサポート関係者とオンラインで会議を開催し、ロジハブシステムに関する意見交換を行った。（6月）
- 県内企業及び団体に対し講演会を開催し、情報発信を行った。（10月）

【実施状況】（観光振興課、MICE推進課）

サステナビリティガイドラインのなかで、県内MICE事業者のフードロス削減における取組事例等を掲載しており、沖縄MICEネットワーク会員（222団体のうち、宿泊業のホテル等は20団体加入）に対して、MICE人材育成講座等において取組事例の紹介及び普及等に努めた。

【実施状況】（流通・加工推進課）

11月、12月、1月開催予定の6次産業化セミナーに向けたチラシを作成し、関係機関へ配布した。

(2) 食品関連事業者系食品ロス対策

① 規格外や未利用の農林水産物の活用の促進

生産された農林水産物を無駄にしないよう、出荷されることなく廃棄される農林水産物の削減を図るため、加工等により規格外農林水産物の活用が可能な6次産業化を推進します。

【実施状況】（流通・加工推進課）

【商品開発個別支援】

11名×各1回実施 県産農林水産物を活用した魅力ある加工品の開発に取り組む人材を育成するため、商品開発、販路開拓等の専門家を派遣し個別指導を実施した。

【人材育成研修】

11月、12月、1月開催予定の6次産業化セミナーに向けたチラシを作成し、関係機関へ配布した。

② 賞味期限の大括り化の促進

賞味期限の年月表示化が可能な商品は、賞味期限表示の大括り化の取組を促進します。

③ 商慣習見直し取組の促進(食品流通段階での納品期限3分の1ルールの緩和等)

サプライチェーン全体での食品ロス削減に資する厳しい納品期限（3分の1ルール）の緩和や、需要予測の高度化や受発注リードタイムの調整等による適正発注の推進等の商慣習の見直しの取組を促進します。

数値目標	単位	現況値	実績						(中間目標)	目標値	
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	達成度	R8	R13	
商慣習の見直しについて意見交換を行う「商慣習見直しにかかる実務者会議」及び担当者会議等の開催件数	回/年	0	3					100%		3	4

【実施状況】

(衛生薬務課)

各保健所を通じ毎年食品関連事業者に対して食品表示法に関する巡回調査・点検、講習会を定期的に行っている。消費期限、賞味期限については、当該食品の科学的根拠に基づき、適切に表示するように指導している。大括り化を行う事業者についても、問い合わせ等があれば食品表示等について対応する。

(流通・加工推進課)

農林水産省による商慣習の見直しに取り組む事業者の募集の周知を行った。

(流通・加工推進課、ものづくり振興課、消費・暮らし安全課)

商慣習見直しを検討するための実務者会議を開催。

○第1回実務者会議 令和4年9月29日(協議事項:商慣習見直しについて、先進事例の紹介)

○第2回実務者会議 令和4年11月4日

(協議事項:食品ロス削減に取り組む事業者の登録制度による周知未利用食品の有効活用の推進)

○第3回実務者会議 令和5年1月中旬頃(予定)

(協議事項:共同宣言(案)意見交換・採択「食品ロス削減に取り組む事業者の登録制度による周知」)

④ 外食産業における食べ残し対策等の促進

飲食店等事業者に対し、3010 運動※、「外食時のおいしく『食べきり』ガイド」を周知することにより食べ残しの発生抑制等の取組を促進します。

〔 ※宴会等の最初の 30 分間と終了前の 10 分間に食事をしっかり楽しむことで食べ残しを減らす取組。 〕

【実施状況】

（環境整備課）

環境フェア（11 月 12 日）の展示でチラシ配布等を行う。

（消費・くらし安全課）

コロナが落ち着き、宴会やビーチパーティ等の機会が増えていく時期に合わせ、県民に対し食品ロス削減の普及啓発を実施していく。

（3）表彰制度の創設

① 食品ロス削減に貢献した事業者への表彰制度の創設

食品ロス削減の先進的な取組事例を周知し、県民等に削減取組の重要性が広く認知され、県内における一層の実践を促すため、表彰を実施します。

数値目標	単位	現況値	実績						(中間目標)	目標値	
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	達成度	R8	R13	
沖縄県が行う食品ロス削減にかかる表彰式の実施回数	回/年	0	作成中							1	1

【実施状況】（消費・くらし安全課）

国や他県の表彰制度を参考にし、令和5年度実施に向け実施要領等を作成中。

(4) 実態調査及び調査・研究の推進

① 家庭系食品ロス発生量の調査

家庭系食品ロス発生量を把握するため、適時、実態調査を実施します。

【実施状況】（環境整備課）

協力市町村と調整の上、食品ロス調査を実施する。(12月～2月に実施予定)

② 事業系食品ロス発生量の調査

事業系食品ロス発生量を把握するため、適時、実態調査を実施します。

【実施状況】（消費・暮らし安全課）

令和4年度10月に県内の食品関連事業者（食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業）を対象に食品ロスなどの発生状況に関するアンケート調査を実施し、集計作業中。

(5) 情報の収集及び提供

① 先進的な食品ロス削減の取組等の広報活動

本県および全国の先進的な取組や優良事例を協議会やシンポジウム、啓発イベントなどについて、県広報媒体を通じて幅広い世代に向けて情報を提供・発信します。

数値目標	単位	現況値	実績						(中間目標)	目標値	
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	達成度	R8	R13	
食品ロス削減の取組等について、各広報媒体を活用した広報実施回数	回/年	3	6					120%		5	5

【実施状況】（広報課）

広報誌「美ら島沖縄」

- ・食品ロス削減をテーマとした連載の実施（6月～8月） 3件
- ・SDGs特集（6月号）における「SDGsOKINAWA グランプリ 2021」の紹介（受賞作品に食品ロス削減をテーマとした取組有） 1件
- ・「おきなわこども未来ランチサポート」紹介（10月号） 1件

広報テレビ「うまんちゅひろば」

- ・「食育月間」紹介（6月放送） 1件

② エシカル消費啓発と連動した取組

エシカル消費の周知を行う中で、食品ロス削減への取組が人・社会・環境に配慮した消費行動であるエシカル消費につながることを消費者に啓発します。

数値目標	単位	現況値	実績						(中間目標)	目標値	
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	達成度	R8	R13	
エシカル消費の認知度 (エシカル消費認知度調査における「言葉の内容を含めて知っている」県民の割合)	%	2.8						0%		12.6	25

【実施状況】（消費・暮らし安全課）

- ・エシカル消費啓発ポスターを作成し、食品ロス削減推進月間に合わせて食品ロス削減啓発ポスターと一緒に関係機関へ配布し掲示を依頼した。（41市町村、沖縄県食品ロス削減推進県民会議委員 35団体）
- ・令和5年3月にエシカル消費の認知度調査を実施予定。

(6) 未利用食品を提供するための活動の支援等

① 未利用加工食品等を活用するためにフードバンク活動の取組を支援

未利用加工食品等の活用を推進するため、食品を提供する協力企業等を確保するとともに、支援を必要とする団体等のニーズを把握し、フードバンク活動の取組と連携した持続的な食支援の仕組みの構築を図ります。

また、子ども食堂や福祉施設等に提供するフードバンク活動に関する情報発信を図ります。

数値目標	単位	現況値	実績						(中間目標)	目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	達成度	R8	R13
沖縄子どもの未来県民会議が実施する食支援事業に協力する協賛企業等の数	件	50	31				52%		60	70

※ランチサポート協賛企業数は未利用加工食品の提供だけでなく、子どもの居場所に提供することを前提として生産した食品も多く含まれていることを周知する必要がある。また、協賛企業数は当該年度に寄贈があった企業の実数であり、令和4年度10月末までの協賛企業数を入力している。

② 生活困窮家庭等への未利用食品の活用の推進

食品関連事業者等から発生する未利用食品等を子ども食堂や福祉施設等に提供するフードバンク活動に関する情報発信を図ります。

③ 災害時用備蓄食料の有効活用

買い替えを迎える災害時用備蓄食料については一定の賞味期限を残した形でフードバンク等に提供し有効活用を図ります。

数値目標	単位	現況値	実績						(中間目標)	目標値	
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	達成度	R8	R13	
賞味期限が残り1年を切る食品の内、フードバンク等へ提供する食品の割合	%	—	100							100	100

【実施状況】 【子ども未来政策課、消費・暮らし安全課】

○フードバンクセカンドハーベスト沖縄や・子ども未来ランチサポートを通し生活困窮家庭及び子ども食堂等へ備蓄食料を提供する際、食品ロスや備蓄食料の啓発用リーフレット（大人用、子ども用2種類）を作成し、配布予定。（21,600食）（R4.11月末予定）

○10月の食品ロス削減月間に合わせ、未利用食品活用のため、フード&ライフドライブ in 県庁を実施し、おきなわ子ども未来ランチサポートを通し、子どもの居場所等へ提供した。（食品：総数490個、122.3kg、日用品：総数528個）

（子ども未来政策課）

○10月の食品ロス削減月間にあわせて、県民会議事業に関するパネル展を設置し、フード&ライフドライブに関する周知・広報を図った。また、SNSにも同様の記事を投稿し、県民へ広く周知を図った。

2. 沖縄県の特性を踏まえた施策展開

(1) 未利用食品の有効活用の推進

① 生活困窮家庭等への未利用食品等の食料支援の仕組みを構築

沖縄子どもの未来県民会議と連携した食料支援の仕組みづくりを構築します。

【実施状況】（子ども未来政策課）

【未利用食品等々の食料支援の取組】

○ケンタッキー・フライド・チキン株式会社と食品提供に関する協定を締結し、未利用食品（チキン）を子ども食堂等へ提供する取組を開始した。（令和3年7月～）

【その他の取組】

○「子どもの居場所フェスタ シンポジウム」に参加し、居場所の経営者、社会福祉協議会等と意見交換を行った。（5月）

○全国食支援活動協力会及びランチサポート関係者とオンラインで会議を開催し、ロジハブシステムに関する意見交換を行った。（6月）

○県内企業及び団体に対し講演会を開催し、情報発信を行った。（10月）

【実施状況】（子ども未来政策課、消費・くらし安全課）

○フードバンクセカンドハーベスト沖縄や、子ども未来ランチサポートを通し生活困窮家庭及び子ども食堂等へ備蓄食料を提供した。

○10月の食品ロス削減月間に合わせ、未利用食品活用のため、フード&ライフドライブ in 県庁を実施し、おきなわ子ども未来ランチサポートを通し、子どもの居場所等へ提供した。（食品：総数490個、122.3kg、日用品：総数528個）

② 県の災害時用備蓄食料の有効活用の推進

災害時用備蓄食料の買い替え時期に合わせて賞味期限が1年に迫った物資（食料）をフードバンク等に提供し有効活用を図ります。

数値目標	単位	現況値	実績						(中間目標)	目標値	
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	達成度	R8	R13	
賞味期限が残り1年を切る食品の内、フードバンク等へ提供する食品の割合	%	—	100							100	100

【実施状況】（消費・暮らし安全課）

- フードバンク・子ども未来ランチサポートを通し生活困窮家庭及び子ども食堂等へ提供し、賞味期限が迫った備蓄食料を廃棄することなく有効活用した。（提供備蓄食料 ビスケット 6,600食、アルファ化米 15,000食）
- 離島の小中学校における環境教育に併せて備蓄食料を用いて台風等災害時の防災教育等へ活用した。
- 備蓄食料提供の際に、食品ロス削減及び災害備蓄の必要性等を周知するためリーフレットを配布した。

（2）台風等により仕入れが遅れた食品等の有効活用の促進

フードバンク等を活用し子ども食堂や生活困窮家庭等に提供できるような仕組みを構築します。

【実施状況】

（子ども未来政策課）

【備蓄食料の提供】

- 沖縄総合事務局及び防災危機管理課と連携し、災害備蓄食をランチサポートを通して各子どもの居場所等へ配布した。
- 県が各合同庁舎及び事務所（北・中・南部、宮古、八重山）に保管している備蓄食料については各市町村社会福祉協議会に協力を求め、地域の子どもの居場所等に呼びかけを行い、11月中の配布を予定している。

【その他の取組】

沖縄子どもの未来県民会議を通して、県内企業等に食品提供の呼びかけを行った。

（消費・暮らし安全課）

- 台風による納品遅れにより販売できなくなった食料や日用品を提供している事業者にはヒアリングをし、仕組み作りを検討している。
- 沖縄県食品ロス削減推進県民会議（実務者会議）で台風等による仕入れが遅れた食品等の有効活用の促進について、協議を行った。

(3) 観光客への食品ロス削減の普及啓発の取組

観光誘客プロモーションや修学旅行誘致を行う際に食品ロス削減の啓発活動を行います。合わせて、観光客やMICE等を受け入れる宿泊施設や観光施設等の管理者側に対しても食品ロス削減の取組の推進を呼びかけます。

数値目標	単位	現況値	実績						(中間目標)	目標値	
		R3	R4	R5	R6	R7	達成率	達成度	R8	R13	
3010運動を推奨しているホテル数	件	0	0					0%		50	100

【実施状況】（観光振興課、MICE 推進課）

- ・沖縄MICEネットワークの取組のなかで、「沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン」を作成した。
- ・サステナビリティガイドラインのなかで、県内MICE事業者のフードロス削減における取組事例等を掲載しており、沖縄MICEネットワーク会員（222団体のうち、宿泊業のホテル等は20団体加入）に対して、MICE人材育成講座等において取組事例の紹介及び普及等に努めた。
- ・今後の誘客プロモーションや誘致活動に併せて、食品ロス削減に係る啓発活動や観光関連事業者への働きかけ等も検討していく。